

創造

JA いけだ
CREATION

今月の表紙写真は、役場主催の池田町農業構造政策推進協議会・女性部研修で2JAの女性部員が㈱エコERCに訪れた際の集合写真です。詳細は5ページをご覧ください。



CONTENTS

- ※ 第47回十勝総合畜産共進会
- ※ 21NEWSアラカルト
- ※ シリーズ協同組合と報徳
- ※ 金融共済課より
- ※ JAグループ通信
- ※ 営農部通信
- ※ 畜産部通信
- ※ 未来人
- ※ 今月の1枚
- ※ 理事会の動き
- ※ 編集後記

2016.

9
SEPTEMBER

No.081

第47回十勝総合畜産共進会

(有)大塚牧場出品の「ただよ」が1等賞1席受賞!



(有)大塚牧場の「ただよ」(第18部1等賞1席)

第47回十勝総合畜産共進会、肉用牛の部・種馬の部が7月21・22日に音更町の家畜共進会場で開催されました。厳正な審査の結果、出品頭数が21頭と最も多かった肉用牛未經産第18部において(有)大塚牧場出品の「ただよ」が1等賞1席を受賞。馬の部では川添保徳さんの「鈴勝」が1等賞3席を受賞しました。

今年は十勝を代表する肉牛96頭(雌牛群9組)、



川添保徳さんの「鈴勝」(第30部1等賞3席)

馬34頭が出品され、日頃の改良と飼養管理の成果が競われました。当JA管内からは6月開催の町家畜品評会で好成绩を収めた肉牛16頭(雌牛群2組)、馬1頭の計17頭が出品されました。発育・資質ともに全体のレベルが上がる中、8頭2組が上位入賞を果たす優秀な

成績となりました。当JAでは、技術向上と仲間づくりを目的に、若手生産者による群出品を3年前から行っており、本年は未經産牛3頭の父系群、繁殖牛3頭の繁殖牛群の2部門へ出品を行いました。惜しくも最高位は逃したものの、地域の評価につながる結果となりました。

9月3・4日に音更町にて開催される第32回北海道肉用牛共進会では、道内各地より選抜された牛たちが北海道の頂点を目指し競われます。当JA管内からは7頭(雌牛群1組)の出品を予定しており、上位入賞が期待されます。最後に、関係者皆様のご支援、ご協力にお礼申し上げます。

(記事・畜産部畜産課 米川 武)



多田将平さんの「みのり」(第24部1等賞3席)



(有)大塚牧場の「あさひ」(第22部1等賞3席)



若手生産者の繁殖牛群 (第29部 1等賞 1席)



若手生産者の父系群 (第27部 2等賞 1席)

第47回十勝総合畜産共進会出品結果

畜種	区分	部	審査結果	本牛名号	父牛	出品者
肉牛の部	未経産	18部	3等賞	みつかつたか	光平照	清水孝悦
				なつみ	美津照重	河口賢悟
			1等賞1席	ただよ	勝忠平	(有)大塚牧場
		19部	3等賞	ひらり	北平安	高嶋紳一
			2等賞1席	りりい	勝早桜5	守内拓司
		20部	3等賞	すみれ	隆之国	多田将平
				みゆき	隆之国	高嶋紳一
			2等賞4席	かつただみつ	勝忠平	清水孝悦
		21部	3等賞	えみり	隆之国	宮前最尚
				あかり	光平照	河口賢悟
		22部	3等賞	さきな	勝早桜5	多田隆弥
				1等賞3席	あさひ	百合茂
	経産	23部	2等賞1席	あおか	勝忠平	(有)大塚牧場
				きよみのり	勝忠平	清水孝悦
		24部	2等賞3席	みのり	安茂勝	多田将平
			1等賞3席	しづく	忠富士	宮前最尚
	群出品	27部	2等賞1席	すみれ	隆之国	多田将平
				みゆき	隆之国	高嶋紳一
				えみり	隆之国	宮前最尚
		29部	1等賞1席	きよみのり	勝忠平	清水孝悦
みのり				安茂勝	多田将平	
しづく				忠富士	宮前最尚	
馬の部	1才雄	30部	1等賞3席	鈴勝	カネサブブラック	川添保徳

花壇前での集合写真



こだま会

こだま会一日研修 中札内～芽室～帯広競馬場

8月1日（月）に、こだま会一日研修を行い、中札内でお花を育てている埜田さんのお宅に向かいました。

家の前にはデコレーションケーキのように綺麗に段をつけて花が配置されていて、見る人を魅了させる演出をしていました。家の隣にあるビニールハウスの中には花の苗が置かれており、埜田さんも把握していないと言うぐらい、たくさんの種類の苗が置いてありました。良さそうな苗は道の駅に持って行って販売もしていると話しており、会員の方々も楽しそうに選びながら、ハウスに置いてある苗を買って帰りました。

芽室の松久園で昼食を取った後に、帯広競馬場へと向かい、教わりながら買った馬券を握りしめ、レースを観戦しました。当たった方も数名いて、喜びを噛みしめながらバックヤードツアーのバスへと乗りこみました。このツアーは、関係者以外立ち入れない場所に招待してくれるツアーで、ソリの脱着場から厩舎の内部を1周した後、事務所内へと移り、旧実況室の見晴らしの良い場所から2レースを観戦させてもらいました。

雨こそ降りましたが、降車中に弱まったことが幸いです。何より会員全員の参加で楽しい一日を過ごせたことが一番良かったことだと思います。

（記事・営農部営農課 豊原英梨）



デコレーションケーキのような花壇

もぎたて部会

もぎたて朝市を開催!

8月10日（水）Aコープ利別店前駐車場にて、もぎたて部会による「もぎたて朝市」が開催されました。その日の朝に採れた新鮮な野菜とお花が販売され、朝早くから多くのお客様に足を運んで頂き大盛況でした。

もぎたて部会会長の石澤恵美子さんは、今回の朝市を通して、「池田町産野菜の美味しさを多くの人に知って頂く機会になってほしいです。」と話されていました。

Aコープ利別店内では毎日、もぎたて部会による「朝採り野菜が並ぶコーナー」を設置しております。これからも、消費者の皆様には新鮮で安全な野菜を提供して参りますので、応援の程宜しくお願い致します。

（記事・営農部営農課 杉山淳史）



もぎたて朝市の様子

女性部

農政協女性部研修会

8月19日（金）にJA十勝池田町とJA十勝高島の女性部と事務局含めた総勢19名にて、池田町農業構造政策推進協議会の女性部研修を行いました。

最初に大樹町にある雪印メグミルク㈱でチーズの説明を受けました。チーズには大きく分けると、プロセスチーズとナチュラルチーズの2種類があって、特徴や製造方法、熟成期間が3ヵ月の物もあれば、12ヵ月と長期間掛かる物と様々あることを知りました。工場では「さけるチーズ」の製造ラインを見学。元々は「ストリングチーズ」という名前で販売されていましたが、チーズの特徴を消費者に分かりやすくイメージ付けるため、1995年に「さけるチーズ」に改名されました。プレーン味とスモーク味は大樹工場のみで製造しているそうです。

午後からは、豊頃町の㈱エコERCで、なたね油とバイオディーゼルについて話を聞きました。原料のなたねは、十勝及び東神楽農協の農家さんと播種前契約を取り交わしているそうです。通常搾油には200～300℃もの熱が発生するのでダメージが大きくなるのですが、㈱エコERCでは低温圧搾で60℃まで下げることによって良質ななたね油を精製しています。また、無添加にするため有機溶剤を一切使用せず、湯洗いを何度も繰り返す手間暇も掛けていました。

普段なかなか知ることができない内容を勉強することができましたし、高島農協の女性部員との交流もできて良い研修会となりました。

（記事・営農部営農課 豊原英梨）

雪印メグミルク㈱でチーズの説明を受けている様子



管理課

Aコープにて
火災避難訓練を実施

7月27日（水）Aコープ利別店にて、防火意識向上と災害時の避難行動を身につけるため、火災を想定した避難訓練及び消火訓練を、営業時間前に実施いたしました。

訓練内容としては、火災発生を想定し、

火災報知機発報から、火災発生確認、初期消火、消防・防火管理者への通報、お客様と職員の屋外避難までの一連の訓練を行いました。また、営業時間前の訓練でしたので、他部署の職員を店舗内でお買い物をするお客様と想定して、避難誘導も取り入れながらの訓練を行いました。

避難訓練終了後には、池田消防署より今回の訓練に対する指導が行われ、避難誘導のアナウンスが少し遅れたが、全員落ち着いた避難行動であったと評価をいただきました。

避難訓練は、実際の災害時にAコープ職員全員が避難通路やお客様の避難誘導が自然と出来るように、見に行くまで繰り返し行う事が必要と考えております。また、Aコープは食品・生活必需品を組合員、地域住民に供給することだけでなく、火災時には、お客様の命を守ることも、私達の大切な仕事と実感いたしました。

（記事・管理部長 花本 敦）



消火訓練の様子

5 S

5S活動推進委員会 視察研修を実施

5 S活動推進委員会では、7月11日～12日に千歳市の「㈱デンソー北海道」と「JAびばい」の視察研修を実施致しました。

今回の研修では、他企業や他JAの5 S活動への取組状況を知ることにより、当JAの5 S活動の課題を見つけ、活動の活性化を図ることと、㈱デンソー北海道で取組んでいるQCサークル活動について研修し5 S活動に生かす事を目的として実施致しました。

QCサークルとは、現場で働く人々が、継続的に製品、サービス、仕事などの「質」の管理・改善を行う小グループで、グループは運営を自主的に行い、QCの考え方、手法などを活用し、創造性を発揮し自己啓発・相互啓発を図り活動を進めることで、QCサークルメンバーの能力向上、自己実現、明るく活力に満ちた生きがいのある職場づくり、お客様満足の上昇及び社会への貢献を目指す活動でした。

JAびばいでは、5 Sに空知(sorachi)のS(空知管内13農協が目的に向かい一致団結する)を加えた「6 S運動」に取り組んでいました。JAびばいの6 S活動は、「活力ある職場」を目指し、「JAの使命である組合員や地域住民の願いや悩みの解決」と「職員が自律的に問題解決に取り組む、一体感のある熱い職場作り」(ムリ・ムラ・ムダの無い働きやすい職場)に取り組んでいました。

今回の研修では、他の組織の様々なお話を伺うことで、5 S活動を進めていくための解決策が見出せそうなヒントを沢山いただきました。今回の視察研修で得たものを活かして行けるように、5 S活動推進委員一同協力して、5 S活動に取り組んでまいります。(記事・管理部長 花本 敦)

研修の様子



尊徳が説く

推譲とは

推譲とは、読んで字の通り「推し譲ること」です。

今日の文化生活は、人類の勤労の積み重ねであり、先人の苦心の結晶である譲道の賜物です。

報徳の譲りは、単に自らに譲るばかりでなく、他(社会)にも譲って、内外から生活経営の安定と将来の発展を確保することにあるのです。

さらに譲りを、物心両面に押し拡げて、知恵も地位も資力も技術も、また体力や精神や物質も譲るべきであると説いています。

推譲は、社会保障をもたらし、平和社会を建設する

シリーズ 協同組合と報徳 No.24

源泉であります。ですから推譲を実践する個人・団体・会社によって社会が前進します。

今日のを明日に譲る

尊徳は「譲りということとは人道であって、今日のを明日に譲り、今日のを来年に譲るということを勤めない者は人であって人でないのだ。二十銭とって二十銭つかい宵越しの銭を持たぬなどというのは、鳥獣の道であって人道ではない…人は鳥獣とちがって、今年のを来年に譲り、そのうえ子孫に譲り、社会に譲る道がある。自分や子孫に譲るのは、わがための譲りだから教えがなくてもできやすいものである。」といっています。

金融共済課より

火災はもちろん自然災害や地震まで
確かな保障を提供します。

建物更生共済
むてき

契約日が平成16年4月1日以後の建更共済「むてき」には遡及適用されます！

- POINT 1** 風災、ひょう災、雪災時に5万円の損害から共済金が支払われます。
平成22年までの建物更生共済では、風災・ひょう災・雪災による損害額が20万円以上の時に共済金が支払われましたが、5万円以上の損害でも共済金が支払われるようになりました^{※1}。
- POINT 2** 盗難被害にあった時に、5万円が支払われます。
共済期間中に盗難によって損害が生じたことにより、火災共済金または通貨等盗難共済金の支払事由に該当した場合は、盗難による損害の再発防止のために、共済期間中1回を限度に5万円を支払います^{※2}。
- POINT 3** 水災によっても残存物とりかたづけ費用共済金が支払われます。
従来、火災等・風災・ひょう災・雪災に限り支払われていた残存物とりかたづけ費用共済金が水災によっても支払われるようになります。

JAの建物更生共済は様々な損害を保障します！



あなたの大切な財産を守ります！

※1 ①損害割合5%以上、②損害割合が3%以上（床下浸水除く）のいずれかに当てはまる場合。
 ※2 継続特約付建物更生共済契約における盗難再発防止費用共済金については、10年の共済期間ごとに1回の支払いとなるため、継続回数1回の場合（通算共済期間が20年）は通算2回の支払い、継続回数2回の場合（通算共済期間が30年）は通算3回の支払いとなります。

※上記の内容は平成29年3月31日まで有効です。
 ※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のおおき約款」を必ずご覧ください。

【16019900020】

お問い合わせは JA十勝池田町
 本所 015-572-3131
 支所 015-572-3132



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

JA北海道中央会

JA北海道大会決議事項である「サポーター550万人づくり」に向けて、道民の皆さんに食と農・JAの魅力伝えるスマートフォンアプリ「JA²MP（ジェイエイジャンプ）」のダウンロードを開始しました。

農業イベントや関連施設のチェックインスポットラリー、直売所から発信するオススメ農畜産物情報など、皆さん一人一人が北海道の魅力を再確認していただけるよう地域の魅力発信に努めて参ります。



JA北海道信連

北海道若手女性農業者集団「Links」のメンバーを講師に、小学生とその親を対象とした「学ぶ・作る・食べる 旬食カレッジin札幌 親子料理教室」を開催しました。

「料理教室」と「食の講演」を通じて、地域の皆さんに地元食材のファンになってもらい、さらにJAバンクの商品・利便性を紹介してのサポーターにつなげることを目的としています。



ホクレン

酪農生産基盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率の低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施します。

具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。今年の冬、子牛の寒冷ストレス対策の強化に向けて本事業をご活用いただき、将来の経営基盤の基礎となる優良後継牛の生産にお役立てください。日程・事業内容の詳細は、池田農協畜産課へ問い合わせください。



JA共済連北海道

共済ホールで、「全道LA・スマサポ大会」を開催し、前年度の普及活動で優秀な成績を収めたLA62名と、スマサポ29名を表彰しました。

JA共済では、これからもLA・スマサポによる「3Q訪問活動」と「あんしんチェック」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めて参ります。

※LA…ライフアドバイザーの略称。JA共済の保険契約者の保障をサポートする、JA共済の専門家。

※スマサポ…スマイルサポーターの略称。JA共済の顔になる窓口担当者の愛称。

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにバックナンバーを掲載しております。是非ご一読ください。

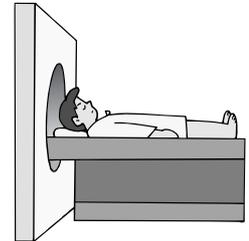


営農部通信

営農部
営農課

▶ 人間ドック後期取りまとめについて

9月1日付けでFAX及び郵送にてご案内しておりますが、再度広報にてご案内致します。ご自身の健康状態を把握して頂くと共に、健康管理と病気の早期発見のため、年に1度は受診されますようお願い致します。



1. 受診対象者 正組合員または同居の家族
2. 受診料金 31,320円
3. 助成金額 下記表の通り

	農協助成	池田町助成	個人負担額
30歳未満	11,000円	なし	20,320円
30～39歳	11,000円	5,616円～	14,704円
40歳以上	11,000円	8,370円～ ※1、※2	11,950円

※1：40～74歳（年度内に40歳になる方を含む）の国保加入者の方は、特定健診の助成（全額）があります。特定健診の対象者で詳細項目検査の該当になった場合は、貧血・心電図・眼底検査料金の一部が助成されます。

※2：後期高齢者医療被保険者の方は後期高齢者健診の助成（全額）があります。

4. 実施日

男性 (46名)				女性 (30名)	
11月10日 (木)	5名	11月24日 (木)	5名	11月9日 (水)	5名
11月15日 (火)	2名	12月1日 (木)	5名	11月11日 (金)	5名
11月17日 (木)	3名	12月5日 (月)	5名	12月9日 (金)	5名
11月21日 (月)	5名	H29年1月5日 (木)	6名	12月14日 (水)	5名
11月22日 (火)	5名	1月10日 (火)	5名	12月16日 (金)	5名
				H29年1月6日 (金)	5名

5. 取りまとめ期日 平成28年9月30日 (金)

※希望日については申込順です。予定数が埋まった場合は別の実施日に農協で振り分けます。

6. 注意事項

①脳ドック・肺ドックにつきましては、1日に受診できる人数が決まっております。事前の予約申込が必要で、受診希望者は、厚生病院からの案内が届き次第、必ず受診者本人が厚生病院へ直接、電話にてお申込みください。

※申込の際に簡単な問診があり、農協から予約申込する事は出来ませんので、ご了承ください。

②受診希望数が多く、キャンセル待ちの方が多数おります。受診日に受診できなくなった場合には早めに農協か厚生病院まで必ずご連絡ください。

③例年、後期期間に受診希望者が集中する傾向があります。厚生病院からの受診枠が決まっている事や、他農協の組合員さんも後期期間に集中するため、受診できない場合があります。その際は、町で11月17日 (木)、18日 (金) に行う巡回ドックの受診をお勧めします。

④町の助成を受けて検診を受けられた場合は、検診結果（精密検査結果も含む）が町へも報告されますことをご了承ください。

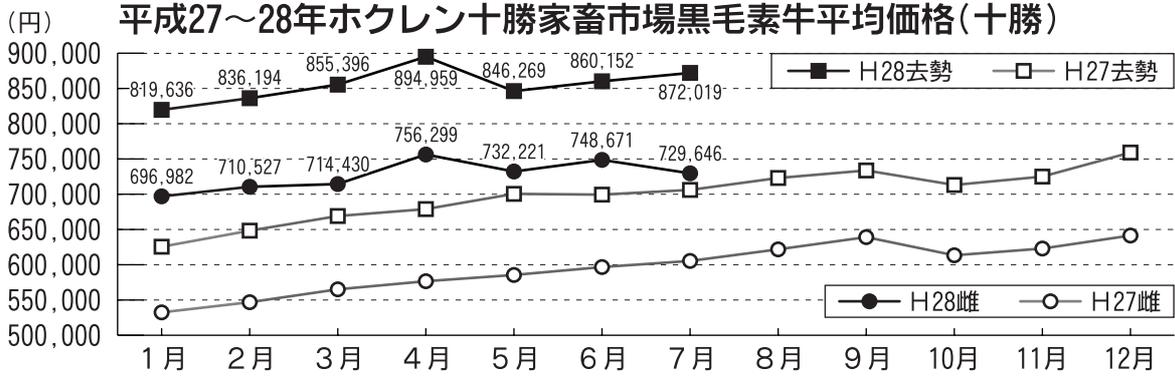
7. 申込先

JA十勝池田町 営農課までFAX及び郵送にて送付している申込書にてお申し込みください。TEL 572-3131 FAX 572-3519



畜産部通信

畜産部
畜産課



7月黒毛素牛出荷区分別成績

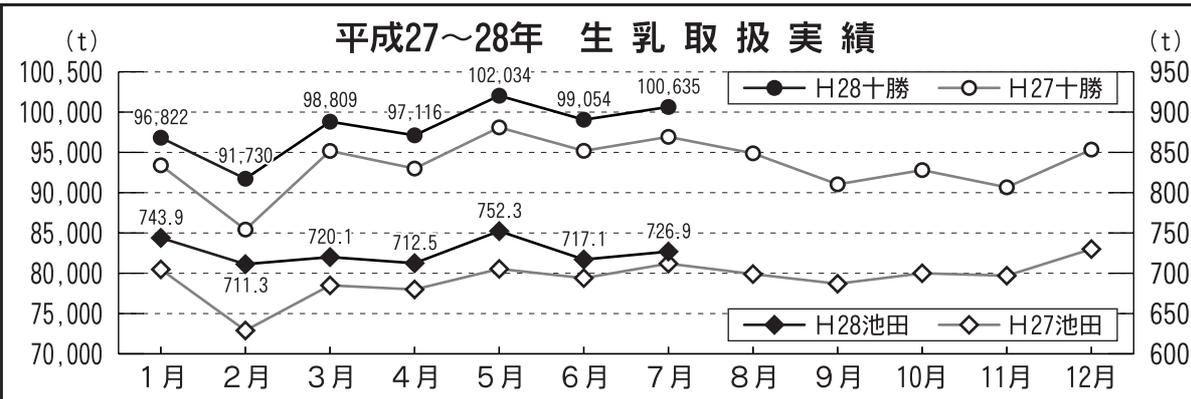
【金額(円)】

去勢	池田	十勝	雌	池田	十勝
和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛
取引頭数	取引頭数	取引頭数	取引頭数	取引頭数	取引頭数
平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)
参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率

7月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
10日	黒毛去勢	A-5	2,490
		A-4	2,414
		A-3	2,224
	黒毛メス	A-5	2,553
		A-4	2,433
		A-3	2,339
F1去勢	B-3	1,402	
	B-2	1,190	
F1メス	B-3	1,403	
	B-2	1,263	



7月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	乳牛育成	304	434,355
5日	乳牛初妊	633	706,665
	乳牛経産	96	419,940

7月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	120,801
F1オス初生	299,699
F1メス初生	204,207
廃用牛	200,874



昭栄地区
 塚谷昌輝さん
 (31歳)

Vol.27
未来人
 Mirai Bito

プロフィール

家族は父・亨さん、母・明美さん、妹・華織さん、弟・恭さん、妹・愛李さん、妹・和さん、祖父・晴英さん、祖母・千代子さんの9人家族。
 池田高校を卒業後、北海道農業専門学校へ進学し2年間修学した後、就農する。

「趣

味はドライブです。」と話してくれたのは過去に青年部で支部長を務めた塚谷昌輝さん。ドライブは主に十勝管内を周り、他の町村の畑の状態を観察しているとのこと。

農作業は小さい頃から手伝いをしていた経験があり、また機械が好きと言ったこと、トラクターの運転など機械作業に抵抗はなかったです。」と話す。作業は父・亨さんに教えてもらいながら、また青年部の先輩からやり方を聞いて学んだとのこと。「自分の家のやり方だけでは知識に偏りが出してしまうので、色々な方の話を参考にしています。」と勉強熱心な一面を見せる。

農

業を始めて大変だった事を聞くと、「コンバインでの麦の収穫です。生産者によっては麦ガラを多めに出すように調節するので大変でした。」今年の小麦収穫について聞くと、「日数は多くかからなかつ

たが、夜は毎日12時近くまで収穫していたので、やっぱり大変でした。」と苦笑い。

昌輝さんの畑では馬鈴薯を14町程作付している。品種は、メーカー・北あかり・男爵・レッドムーン・さやかの5種類。どれも一番美味しいですか?との質問に「調理法によって、それぞれ適した芋が違うので、一概にこれが美味しいとかはないかな?ただ、加工用の芋である「さやか」で作るポテトサラダは美味しいですよ。メーカーや男爵に比べたら余計な味がしないので、味付けがしやすいのだと思います。」と答えてくれた。

青

年部へは就農1年目から入部。「青年部は春期研修や夏期研修など様々な研修があり、楽しい、また勉強にもなります。」



以前研修で訪れた、国際農機展では「様々な種類の機械を見る事ができて楽しかったです。」と笑顔を見せる。

最

後に今後の意気込みを聞くと、「まずは怪我なく終える事。体が無事でないともできないので。」そして、「今年は台風などの影響もあり厳しいが、少しでも良い物を収穫する事ができれば。」と話してくれた。

理事会の動き

第 6 回

〈平成28年8月22日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 小麦の受入状況について
- (4) 農産物の生育状況について
- (5) 共計品の精算について
- (6) 平成28年産買取豆類の取扱について

★ 議 案 ★

- (1) 文書管理規程の一部改正について
- (2) 事業計画規程の一部改正について
- (3) 規程類管理規程の一部改正について
- (4) 生乳受託規程の一部改正について
- (5) 従業員個人情報取扱規程の一部改正について
- (6) 災害対策規程の一部改正について
- (7) 財務管理規程の一部改正について
- (8) 特定個人情報取扱規程の一部改正について
- (9) 固定資産の取得について
- (10) 秋季地区懇談会の開催について



今月の1枚



十勝川氾濫の危機

今月の1枚は、8月31日に千代田大橋にて撮影された十勝川の様子です。台風の影響で河川が増水し、洪水が起きる危険性がある「氾濫危険水位」を超えました。今回の台風による被害など詳細につきましては次号に掲載致します。

編集後記

北海道を狙っているかのように立て続けに台風が発生しています。本州を通らずに直接北海道に上陸したのは23年振りだそうです。その台風7号の影響により、足寄町では足寄川と利別川の合流地点手前で川の水が溢れるというニュースが流れており、池田町においても、河川敷ソフトボール場のバックネットを半分近く覆つほど水が溜まりましたが、少しずつ水位が低下していったところでした。

池田町にも避難勧告が出され、私も出勤した後、帰宅指示が出ました。それに追い打ちをかけるように台風10号が30日夜から北海道・東北を襲い、清水町では道路や橋の崩落、大樹町などで3人の行方不明者が出るなど甚大な被害が発生しました。

また、JAグループ等による台風被害対策等情報が集まり次第、組合員の皆様にお知らせ致します。(豊原)

また、荷物をまとめ、同じ団地に住んでいる職員と一緒に池田高校へ避難しました。12時にはピーク時より河川の水位が10mほど下がり、その後、町長が訪問してくださって「水位が徐々に減少していること。上流の足寄・本別が落ち着き、今後水位が上昇する恐れがないので、14時を以って避難勧告を解除します」と発令が来ましたので、避難していた数多くの方が家路に着きました。

農家の皆様につきましては、作物の生育状況や収穫作業が出来ないもどかしさ、場所によっては製品にならない被害もあり、お力をお落としのことと思います。

建物が飛ばされたり、崩れたりという被害も出ていますので、その際は金融部へお申し付けください。皆様の安全を心よりお祈り申し上げます。